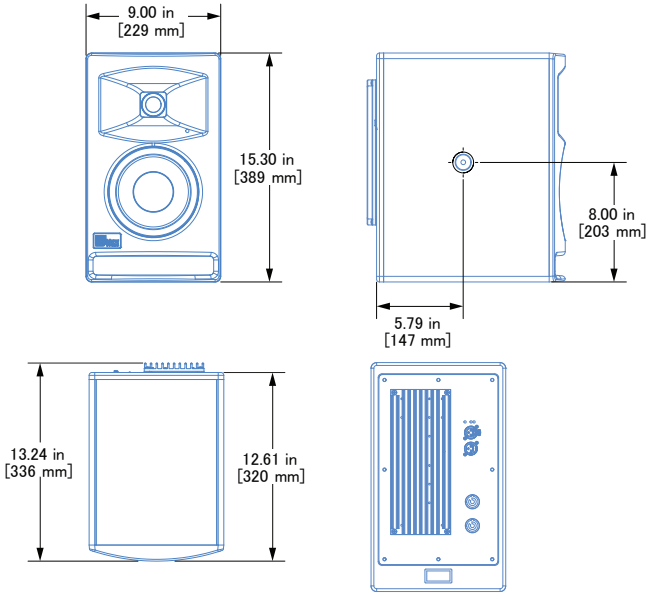
Amie™ プレシジョンスタジオモニター



Amieプレシジョンスタジオモニターは、より大きなシステムへの正確な変換が要求される音楽や映画などの重要なオーディオワークフローのために設計された、コンパクトで高性能なスピーカーです。オーディオプロフェッショナルの厳しいニーズを満たすために開発されたAmieは、比類のない正確さ、イメージ、奥行きで作品を聴くことができます。

Amieは、Meyer SoundのAcheron®スクリーンチャンネルラウドスピーカーの系譜を辿り、音楽、映画、放送、ゲームのポストプロダクションなど、あらゆる精密な作業に理想的なコアテクノロジーを共有しています。

Amieは、小規模から中規模の部屋でのステレオおよびマルチチャンネルモニタリングの両方に同様に適しています。どのアプリケーションにおいても、Amie-Subを追加することでシステムの周波数応答を22 Hzまで拡張できます。Amie SubはAmieラウドスピーカーと併用するために特別に設計されており、Amie-Subに搭載された7.1および2.1統合モジュールを使用することで、どのような構成にも簡単に統合できる完全なシステムを構築することができます。コンプリートシステムは、音楽だけでなく、目標がより大きな制作スタジオである映画制作にも最適なソリューションです。

Amieモニターはそのフラットな周波数応答で、異なるリスニングレベルのソース素材を正確に再現し、驚くべきパワー対サイズ比で、部屋をミキシングステージのように鳴らすことができます。さらに、Amieモニターで達成された位相直線性は、同サイズの他のモニターと比較して優れたイメージングをもたらし、驚くほど整ったインパルス応答を生み出します。

洗練されたオンボード信号処理とクロスオーバー回路が位相特性を最適化し、透明性と正確な空間イメージングを実現します。Amieでモニターすることで、エンジニア、エディター、サウンドデザイナーは、自分たちの仕事がミックスステージや外の世界といった次のステップにうまく反映されることを確信することができます。

Amieは、振幅と時間の両面でリニアなサウンドを実現するよう設計されており、全ダイナミックレンジにわたって均一なレスポンスを示します。高度なドライバー保護回路により、非常に低い歪みと正確な位相応答でピーク音源を適切に処理できるため、快適なリスニング体験が得られ、エンジニアは長時間のセッションでも疲労を最小限に抑えることができます。

Amieの高域トランスデューサーはシルクでコーティングされたドーム型ツイーターで、定指向性ウェーブガイドに供給され、均一で焦点の合ったカバレージとカバレージエリア外でのスムーズなロールオフを実現します。低域トランスデューサーは、リニアな動作をするように設計されたロングエクスカーションコーンドライバーです。最適化された低乱流キャビネットポートは、パワーハンドリングを向上させ、低域レスポンスを拡張します。

独自の高性能2チャンネルクラスDアンプと、洗練されたDSPを搭載したAmieは、十分なヘッドルーム、低歪み、低セルフノイズを誇り、高い音圧レベルでも安定したパフォーマンスを発揮し、最も要求の厳しい音源でも妥協のない正確な再生を可能にします。セルフパワー設計により、部屋の設置が簡単になり、アンプやスピーカーケーブルの長さなどの変動要因が取り除かれるため、Amieはどこで使用しても常に安定した結果を得ることができます。

ループスルー電源コネクターは、マルチチャンネルシステムのセットアップを効率化し、AC室内コンセントを少なくすることができます。

MeyerSound社は、Amieのエンクロージャーを高級なカンバ層材から製造し、光沢を抑えた魅力的な質感のあるブラック仕上げで塗装しています。サイドにあるねじ込み式の取り付けポイントは3/8インチ-16で、オプションのUブラケットを取り付けることができます。このUブラケットは壁や天井に取り付けるか、ポールマウントに取り付けることができます。さらに、オプションのデスクマウントを使用すると、Amieを傾けてデスクの上に置くことができます。

特徴と利点

- 位相の直線性と低歪みにより、正確なイメージングが作成され、時間のずれや不要な高調波によるリスナーの疲労が軽減されます。
- あらゆるメディアに一貫して変換する音楽ミックスの精度が高いです。
- 大規模なシネマシステムへのシームレスな移行が可能です。
- リニアな周波数・振幅特性により、あらゆるレベルでの音の正確さと、広いダイナミックレンジでの均一なトーンバランスを実現します。
- 高いピークパワーにより、歪みと圧縮が最小限に抑えられ、高い波高比が得られます。
- 定指向性ウェーブガイドにより、部屋の相互作用を低減する正確なカバレッジが得られます。
- セルフパワー設計により、セットアップが簡素化され、信頼性が向上します。

アプリケーション

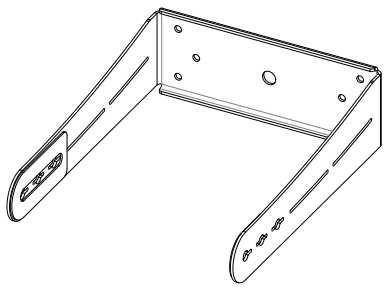
- 中小規模のミキシング・編集室
- 音楽、映画、ビデオのポストプロダクションのためのステレオおよびイマーシブミキシング
- 放送用モニター
- 音楽、映画、ビデオの編集
- ハイエンド再生システム

アクセサリー

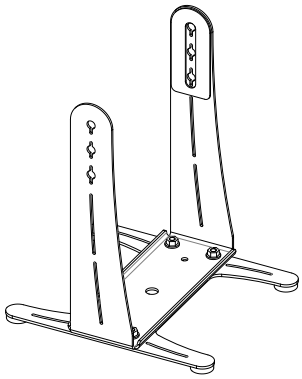
MUB-Amie U-Bracket: Amieキャビネットを壁、天井、またはポールマウントに取り付けることができ、Amieキャビネットのサイドアタッチメントを使用します。

MUB-Amie U-bracket with Stand: MUB-Amie U-Bracketを固定するための台座で、Amieを机の上に置くことをサポートし、チルト機能により傾けることができます。キットにはMUB-Amie U-bracketが含まれます。

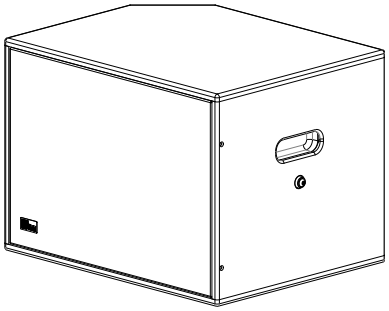
Amie Sub Compact Subwoofer: コンパクトなキャビネットに収められたこのサブウーファーは、プレシジョンスタジオモニターを補完するために特別に設計されました。低周波数範囲を22Hzまで拡張することにより、完全なシステムを実現します。 7.1または2.1統合入力モジュールをAmie-Subにインストールすると、LFE処理機能を含む完全な低音管理システムの作成が容易になります。



MUB-Amie U-bracket



MUB-Amie U-bracket with Stand



Amie Sub Compact Subwoofer

仕様

音響[1]	
動作周波数範囲[2]	42 Hz – 22 kHz
周波数特性	45 Hz – 20 kHz ± 4 dB
位相応答	190 Hz – 20 kHz ±45°
リニアピーク SPL[3]	120.5 dB、クレストファクター18.5 dB（Mノイズ）、117.5 dB（ピンクノイズ）、120 dB（Bノイズ）
指向角度	
水平指向角度	80°
垂直指向角度	50°
トランデューサー	
低域	1 × 6.5インチロングエクスカーションコーンドライバー、4Ω公称インピーダンス
高域	1 × 定指向性ウェーブガイド上の1インチのドームツイーター、4Ωの公称インピーダンス
オーディオ入力	
タイプ	差動式、電子バランスタイプ
最大同相範囲	±15 V DC
コネクター	XLR3ピンメス入力とオスループ出力
入力インピーダンス	ピン2と3の差動10 kΩ
配線	ピン1: シールドと、1kΩ、1000pF、15V で構成されたネットワークを介したシャーシ/アースが、オーディオ周波数において仮想グランドリフトを提供 ピン2:オーディオ信号(+) ピン3：オーディオ信号(–) ケース： アースグランド・シャーシ
公称入力感度	6.0 dBV (2.0 V rms) 連続　通常ノイズ/オーディオ信号のリミッター開始ポイント
入力レベル	スピーカの動作帯域幅にわたって最大ピークSPLを生成するには、+20 dBV (10 Vrms) を600Ωで生成できるオーディオソースが必要です。
アンプ	
タイプ	2チャンネル、クラスD
総出力電力[4]	900 W peak
THD, IM, TIM	< 0.02%
冷却	対流
AC 電源	
コネクター	powerCON 20入力とループ出力（最大7台のAmieスピーカーを安全にループさせることができます）
自動電圧選択	90–265 V AC
安全電源範囲	100–240 V AC, 50–60 Hz
ターンオフとターンオン	90V オン、オフ無し　内部ヒューズによる保護（AC 265 V 超 ）
消費電流	
アイドル電流	0.160 A rms (115 V AC); 0.144 A rms (230 V AC); 0.183 A rms (100 V AC)
連続消費電流(>10 秒)	0.68 A rms (115 V AC); 0.36 A rms (230 V AC); 0.79 A rms (100 V AC)
バースト電流 (<1 秒)[5]	1.02 A rms (115 V AC), 0.51 A rms (230 V AC), 1.2 A rms (100 V AC)
瞬間最大電流	2.7 A peak (115 V AC), 1.4 A peak (230 V AC), 3.1 A peak (100 V AC)
インラッシュ電流	<20.0 A peak

仕様

外観	
サイズ	幅: 229 mm x 高さ: 389 mm x 奥行き: 336 mm
重量	11.3 kg
エンクロージャー	高級多層カンバ材、わずかに質感のある低光沢黒色仕上げ
リギング	両サイドにオプションのアクセサリ取り付け用ポイント3/8インチ-16ネジ

注釈

1. スピーカーシステムのカバレージとSPLの予測は、Meyer SoundのMAPPシステムデザインツールで利用できます。
2. 推奨最大動作周波数範囲。応答は負荷条件と室内音響に依存します。
3. リニアピークSPLは、1mを基準として4mの自由音場で測定されます。2時間継続、周囲温度50℃で、リミッターの開始時にMノイズで測定されたスピーカーSPLコンプレッションは、2dB以下です。
   Mノイズは、ラウドスピーカーの音楽性能をよりよく測定するためにMeyer Sound社が開発した全帯域（10Hz～22.5kHz）のテスト信号です。オクターブバンドで一定の瞬間ピークレベル、周波数とともに増加するクレストファクター、全帯域幅のピーク対RMS値を持っており、比率は18dBです。
   Pinkノイズは、全帯域のテスト信号で、ピーク/RMS比は12.5dBです。
   Bノイズは、最も一般的な入力スペクトラムを再現する際のシステム動作を測定値に反映させ、ピンクノイズを超えるヘッドルームがあることを確認するために使用されるMeyer Soundのテスト信号です。
4. ピークパワーは、アンプが公称負荷インピーダンスに生成するクリップされていない最大ピーク電圧に基づいています。
5. AC電源ケーブルは、バースト電流実効値条件下で、ケー ブルの伝送損失によってラウドスピーカーの電圧が指定の動作範囲を下回らないよう、十分なゲージでなければなりません。

設計仕様

スピーカーは、セルフパワー型のスタジオモニターです。トランスデューサーには、直径6.5インチのロングエクスカーションコーンドライバー1基と1インチのドームツイーターを搭載し、定指向性のウェーブガイドを採用しています。2チャンネルのクラスDアンプを内蔵しており、各ドライバーに1チャンネルが割り当てられています。プロセッシングにはイコライズ、位相補正、ドライバー保護、クロスオーバーが含まれます。

一般的な生産ユニットの性能仕様は、1/3オクターブの分解能で測定すると次のとおりです。：周波数範囲は45 Hz～20 kHz。位相応答は190 Hz～20kHz±30°。リニアピークSPLは120.5dBです。1mを基準とした4mの自由音場でMノイズを使用して測定されたクレストファクターは18.5dBです。
水平方向のカバレッジは80°、垂直方向のカバレッジは50°です。

オーディオコネクタは、XLR 3ピン、メスおよびオスで、バランスオーディオに対応し、音声入力は、公称6dBV（2.0V rms）の信号を受け付けます。

内部電源は、自動電圧選択、EMIフィルタリング、ソフト電流ターンオン、およびサージ抑制を実行します。電力要件は、50～60 Hzで公称100、110、または230 VACライン電流です。ULおよびCEの動作電圧範囲は、50～60 Hzで100～240 VACです。入力およびループ出力用のAC電源コネクタはpowerCON20です。最大長期連続電流は次の通りです。0.68 A rms（115 VAC）、0.36 A rms（230 V AC）、および0.79 A rms（100 V AC）です。

部品は、最適にチューニングされ通気性のある高級カンバ材で構成され、低光沢でわずかにテクスチャーが施されたブラック仕上げのエンクロージャーに取り付けられています。
寸法は、幅：229 mm x 高さ：389 mmx 奥行き：336 mmです。重量は11.3 kgです。

スピーカーはMeyerSound Amieです。

Meyer Sound Laboratories, Inc.
2832 San Pablo Avenue
Berkeley, CA 94702

+1 510 486.1166
www.meyersound.com/contact
www.meyersound.com

3K59 OR 3JKB COMMERCIAL AUDIO SYSTEM
LISTED

Amie
04.249.004.02 B3
Copyright © 2020. All Rights Reserved.

http://artwiz.jp
株式会社アートウィズ
〒134-0003 東京都江戸川区春江町5-11-2
Tel : 03-5667-9682